

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年9月20日(2018.9.20)

【公開番号】特開2018-38904(P2018-38904A)

【公開日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-010

【出願番号】特願2017-239588(P2017-239588)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月10日(2018.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤に形成された遊技領域に打ち出された遊技球が該遊技領域に設けられた始動領域に入球したことに基づいて、遊技の進行を制御する遊技制御マイクロプロセッサが実装される遊技制御基板と、

前記始動領域に入球したことに基づく前記遊技制御マイクロプロセッサからの払出指令を受けて、払出装置による遊技球の払い出しを制御する払出制御マイクロプロセッサが実装される払出制御基板と、

前記始動領域に入球したことに基づく前記遊技制御マイクロプロセッサからの払出指令を受けて、演出装置による演出制御する演出制御マイクロプロセッサが実装される演出制御基板と、

操作部と、

を備えた遊技機において、

前記払出制御マイクロプロセッサは、少なくとも、電源遮断後においても払い出しに関する情報を記憶することができる払出制御 R A M を有し、

電源投入時から予め定めた期間内に前記操作部が操作されると、前記払出制御 R A M に記憶されている前記払い出しに関する情報を消去し、

前記電源投入時から予め定めた期間が経過した後に前記操作部が操作された場合には、前記払出制御マイクロプロセッサは前記払出装置に関して発生したエラーを解除することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

ところで、上述したようにホールには多くの来場者が訪れ遊技を楽しまれるが、遊技機の一時的なトラブルであっても手際よく解消できないと、遊技が中断されたことにより遊技意欲が低下するおそれがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明は、ホール店員が迷い無く、手際よくトラブルを解消して遊技を再開することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上述した目的を達成するために、本発明に係る遊技機では、遊技盤に形成された遊技領域に打ち出された遊技球が該遊技領域に設けられた始動領域に入球したことに基づいて、遊技の進行を制御する遊技制御マイクロプロセッサが実装される遊技制御基板と、前記始動領域に入球したことに基づく前記遊技制御マイクロプロセッサからの払出指令を受けて、払出装置による遊技球の払い出しを制御する払出制御マイクロプロセッサが実装される払出制御基板と、前記始動領域に入球したことに基づく前記遊技制御マイクロプロセッサからの払出指令を受けて、演出装置による演出制御する演出制御マイクロプロセッサが実装される演出制御基板と、操作部とを備えた遊技機において、前記払出制御マイクロプロセッサは、少なくとも、電源遮断後においても払い出しに関する情報を記憶することができる払出制御RAMを有し、電源投入時から予め定めた期間内に前記操作部が操作されると、前記払出制御RAMに記憶されている前記払い出しに関する情報を消去し、前記電源投入時から予め定めた期間が経過した後に前記操作部が操作された場合には、前記払出制御マイクロプロセッサは前記払出装置に関して発生したエラーを解除することを特徴とする遊技機。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る遊技機によれば、一時的なトラブルであっても遊技意欲を低下させないようにすることができる。